

|                   |   |           |   |            |                  |           |   |
|-------------------|---|-----------|---|------------|------------------|-----------|---|
| 科目ナンバー            | SEM-1-006-hp  |           |   | 科目名        | Glocal Honors演習I |           |   |
| 教員名               | 西館 崇  |           |   | 開講年度学期     | 2020年度 前期        | 単位数       | 2 |
| 概要                | 本演習の目的は、本学園の基本理念である「共愛・共生の精神」を学びつつ、海外研修をはじめ、国内外の幅広い知識に触れることで、グローバルな思考を総合的に学ぶことです。本演習ではまた、3年次、4年次に行われるゼミ学習へ向けての基礎として、物事を筋道立てて考える方法や、課題設定及び課題解決に必要なスキルについて、実践的かつ主体的に学びます。Glocal Honors 演習I(前期)では特に「世界を知る」をテーマとし、(1)現代国際関係の動向や諸相を捉えるための基本的な視点を理解する、(2)現代国際関係の動向や諸相と、自分とのつながりを意識する、(3)仲間たちとの議論を通して、一つの課題に取り組む力を身につけること、を目的として演習を行います。   |           |   |            |                  |           |   |
| 到達目標              | 本演習の到達目標は次の3点です。(1)現代国際関係の動向や諸相を捉えるための基本的な視点を理解することができる、(2)現代国際関係の動向や諸相と、自分とのつながりを意識することができる、(3)仲間たちとの議論を通して、一つの課題に取り組むことができる。  |           |   |            |                  |           |   |
| 「共愛12の力」との対応      |   |           |   |            |                  |           |   |
| 識見                |   | 自律する力     |   | コミュニケーション力 |                  | 問題に対応する力  |   |
| 共生のための知識          | ○   | 自己を理解する力  |   | 伝え合う力      |                  | 分析し、思考する力 |   |
| 共生のための態度          |   | 自己を抑制する力  |   | 協働する力      | ○                | 構想し、実行する力 |   |
| グローバル・マインド        | ○   | 主体性       | ○ | 関係を構築する力   |                  | 実践的スキル    |   |
| 教授法及び課題のフィードバック方法 | 本演習では基本的には学生主体の報告及び討論を中心に行います。毎回の演習における報告のみならず、司会進行についても学生が主体的に行います。初回に報告者の割り振り及び司会進行役の担当決めを行います。なお、演習の最初ないし最後には、担当教員によるミニ講義や討論内容に関する論点整理などを行う予定です。他、全体の演習計画のうち2回から3回にかけては講義形式の演習も行う予定です。   |           |   |            |                  |           |   |
| アクティブラーニング        | ○   | サービスラーニング |   |            | 課題解決型学修          |           |   |
| 受講条件 前提科目         | 受講条件は、(1)グローバル・オーナーズ生として入学した者、あるいは(2)入学後における履修選抜試験に合格した者、とします。  |           |   |            |                  |           |   |
| アセスメントポリシー及び評価方法  | 評価は、(1)演習における報告と討論への積極的な参加状況、(2)中間試験及び期末試験の結果、(3)オーナーズ・ミーティングでの活動及び学修状況、成果物、などから総合的に評価します。  |           |   |            |                  |           |   |
| 教材                | ・原彬久(2019)『国際関係学講義(第5版)』有斐閣。ISBN: 978-4-641-14916-8<br>・吉野源三郎著、羽賀翔一イラスト(2017)『漫画 君たちはどう生きるか』マガジンハウス。ISBN10: 9784838729470   |           |   |            |                  |           |   |
| 参考図書              | ・グローバル人材育成プロジェクト委員会(2017)『グローバル力は鍛錬できる』共愛ブックレット(特別号)、上毛新聞社。<br>・バスカル・ボンフェス、ユベール・ヴェドリーヌ著、佐藤絵里訳(2016)『最新 世界情勢地図』ディスカヴァー。<br>・齋藤孝著(2016)『人はなぜ学ばなければならないのか』実業之日本社。  |           |   |            |                  |           |   |
| 内容・スケジュール         | <p>Glocal Honors 演習I(前期)では特に「世界を知る」をテーマとし、(1)現代国際関係の動向や諸相を捉えるための基本的な視点を理解する、(2)現代国際関係の動向や諸相と、自分とのつながりを意識する、(3)仲間たちとの議論を通して、一つの課題に取り組む力を身につけること、を目的として演習を行います。</p> <p>本演習ではまた、基本的には学生主体の報告及び討論を中心に行います。毎回の演習では、学生の報告のみならず、司会進行についても学生が主体的に行います。初回に報告者の割り振り及び司会進行役の担当決めを行います。なお、演習の最初ないし最後には、担当教員によるミニ講義や討論内容に関する論点整理などを行う予定です。</p> <p>各回のテーマや内容は次のとおりです。第1回は「シラバス授業」(イントロダクション～大学における「学び」の戦略)として、本演習の目的や概要を説明すると同時に、自己紹介を行います。第2回・3回は「なぜ私たちは学ぶのか」について、課題文献を踏まえ議論を行います。第4回～第8回はテキスト『国際関係学講義』を用いた講義とディスカッションを行います。第9回は中間試験を行います。第10回～第14回はテキスト『国際関係学講義』を用いた講義とディスカッションを行います。第15回は前期のまとめとして、学びの振り返りを行います。</p> |           |   |            |                  |           |   |

|                |  |                   |                         |         |   |
|----------------|--|-------------------|-------------------------|---------|---|
| Number         | SEM-1-006-hp   | Subject           | Glocal Honors演習I        |         |   |
| Name           | 西舘 崇 (Nishitate Takashi)   | Year and Semester | First semester for 2020 | Credits | 2 |
| Course outline | <p>The Glocal Honors I class nurtures students who are willing to challenge the status quo and to tackle issues within and outside Japan as glocal (global and local) leaders. The theme of this seminar is "grasping the whole picture of global affairs and exploring the possibilities of our local community, Gunma Prefecture." The students learn to see local issues from a global viewpoint, through class activities that include group work, discussions, and debate. They are expected to participate actively in weekly seminars, broadening their knowledge and understanding of global society, and discovering what they themselves can do to overcome challenges that the local communities of Gunma are facing.</p> |                   |                         |         |   |